



「チェルノブイリ通信」№21をお届けします。第三次チェルノブイリ調査団（7月11日から21日）も数々の困難を乗り越え、どうにか無事に帰ってきました。冷夏のベラルーシから猛暑の九州への帰国は、さすがに堪えたのか体調を少し崩してしまいました、なんとか持ちなおしました。

現地に行ってみて、あらためて私たちが相手をしている国が混沌の中にある国なのだとすることを思い知らされました。簡単にいうと、日本人の発想やスピードから「ツーテンポ」ほど遅らせて考えなければ、中々かみ合わないという感じです。

さて、簡単に報告を行います。

## 【出発】

7月11日、成田13時発SU590便でモスクワに向け出発しました。当初予定では、14時発SU588便だったのですが、急きょ変更。このあたりから今回の旅の厳しさが見え隠れか。支援物資をスムーズにベラルーシ運ぶためにロシア大使館の通関許可証をもらおうと、全リストの形状、重量、値段を英文で作成し、提出したのですが、「チェルノブイリ同盟からの受け取り証（予定）」が間に合わずに通関許可証はもらえませんでした。ロシア大使館の保証書がないため、アエロフロートとの交渉もままならず、270kgもオーバーした支援物資の取り扱いが第一の関門でした。機内持ち込みは一人20～25kg。個人の荷物はできるだけ少なくするように事前に確認していましたが、それぞれの手荷物はずで「ミキプルーン」（大分の会員より70kg寄贈）で満杯になってお

り、270kgのオーバーはどうすることも出来ません。粘り強く交渉を行い、170kgまでは運んでもらえることになり、残りの100kgのうち、2台持ってきている血液分析器を一台（10kg）と自動血球計測機用の希釈液半分（40kg）を送り返し、残り50kg分を26万6400円支払って運ぶことにしました。

## 【支援物資】

今回、私たちが用意した支援物資は、医療機器として自動血球計数装置（LC-360）一台（300万円）、血液分析器（コバスレディー）二台（200万円）とそれぞれの機器に付随する試薬を1200人分（200人×6ヵ月、350万円）、それに放射能測定器一台（20万円）、ミキプルーン70kgとサナトリウムの運営費として2万ドル、合計1100万円相当の支援物資です。12月訪問の際に超音波診断装置を持参していますので、今回持参したこれらの医療機器と合わせて「サナトリウム九州」は、診察・検査についての医療体制は整うこととなります。

## 【ビザ無し入国】

ベラルーシ共和国に入るためのビザ発給業務を今年3月から在日ロシア大使館が行わなくなったことは、前回の通信でお知らせしましたが、モスクワのベラルーシ大使館でも結局ビザを貰うことが出来ませんでした。

7月12日（月）、朝一番にベラルーシ大使館に申請書類を持っていきましたが、『支援物資の受取証がない。受取証をもって夕方もういちどこい』

という冷たい対応でした。早速ミンスクに電話を入れ、FAXで大使館に受取証を入れてもらい、夕方再度ベラルーシ大使館へ。ところがまたしても『明日、もう一度来なさい』という冷たい返事でした。『深江さん、ビザはベラルーシの外務省でも貰えます。予定どおり今夜の夜汽車でミンスクへ向きましょう』とチェルノブイリ救援モスクワ連絡事務所のアルチョフさん。『そうですね。でも大丈夫ですかね。』『夜汽車だと国境国境を越えるのは夜中ですから警備隊の取締もないでしょう。』ということなので、ベラルーシへの「ビザ無し入国」決行となりました。

21時24分発ミンスク行きの夜汽車に乗り込みます。ところが山のような荷物を見て『こんな荷物は運べない』と再び拒否されます。『今回の旅はきびしいね。ミンスクまで辿りつけるやろか。』と大分の河野さんが心配そうに言う。するとモスクワ駅周辺を縄張りとしているいわゆる「顔役」がやってきて、一言、二言で話がついた。仲間がぞろぞろやってきて、アツという間に荷物を運び込んでしまった。『うれしいな』と思っていたら、なんと4万ルーブルも請求されてしまった。4万ルーブルといえば半年分の給料である。日本で考えれば10から15万円ぐらいか。このさき何が起こるかなど肝に銘じモスクワを後にする。

大陸鉄道の乗り心地は快適である。座席は一部屋に二人とグリーン車をみだし、ガッタンゴットンもそんなに気にならない。強いて言えば、スピードが遅いことが難点か。一旦駅に停車すると10分、20分、30分と動かな

い。別に他の汽車を待つ様子もないのだが、停まったまま動こうとしない。そんな調子なのでミンスクに到着したのは午前10時30分であった。予定では8時30分なのである。2時間も遅れたのか、と思っていたら、モスクワとミンスクは時差が1時間。それでも一時間の遅れです。日本人の発想からすれば途中の停車時間を縮めるとか、スピードを少し上げさえすれば、1時間ぐらゐの遅れなどすぐに取り戻すことができるのですが、時刻通りに汽車を走らせるという発想はないようです。

### 【日程変更について】

ヤコベンコさんたちと合流し、様々な困難な話を聞かされました。すでにモスクワの段階で予感はありませんでしたが、2年前とはずいぶんと変わったなという感じです。

さて、日程変更の件ですが、確かに航空チケットが押さえられないようです。理由は二つあります。物価がどんどん上がって、それに伴って国際線の料金などは、とても普通の市民には手が出ない料金になっていること。もう一つは、ロシアとベラルーシがすでに別々の国になっていたということです。ビザの発給事務を在日ロシア大使館が行わないようになったことから「変わったな」とは思っていたのですが、通貨も変わっていたのです。ベラルーシ、ウクライナ、それぞれ独自通貨を持ち、そのため、ロシアのルーブルはベラルーシでは使えても、ベラルーシルーブルはロシアではただの紙屑になってしまうのです。だから、ベラルーシでアエロフロートの航空券を押さえようと

しても、相手はモスクワですからロシアルーブルでなければ相手にされません。しかもそのロシアルーブルはペラルーシでは簡単には手に入りません。なかなか難しいものがあるようです。

この件については、持参したドルの一部を取りあえず旅費として提供するというので、その日のうちに招待状を作成し、何とか解決しました。ドルも勝手には使えないので、「ミンスク・モスクワ・東京までの往復の旅費として日本側が提供する。」という覚え書きを私とヤコベンコさん、会計担当者3人のサイン入りで交わし、公式文書にしています。

8月8日早朝、ペラルーシより連絡がありました。チケットは取れたそうです。良かった……うん。

### 【「ドウダルカ」も変更】

さて、困難というものは次々にやってくるものです。ミンスクについて招待状を作りながらアンサンプルの話をしていたら、『モズイリで会えます。日本で公演するものと同じものを見せてくれるはずです。』ということでした。「ドウダルカ」のことだろうと思っていたのですが、私たちを出迎えてくれたのは「パレスカヤ・ゾーラチカ」（草原の星）の子供たちでした。あとで事情を聞いたところ、「ドウダルカはいまフィンランドの方に行っていて、

『あなたたちとは会えない。』ということでした。「うーん、困った」わけですが、すでに招待状は作成し、ミンスクの日本大使館に提出しています。ドウダルカの方は、実際見ることも出来ないし、来日メンバーも、帰ってこなければ確定できないということが、最大のネックになりました。日本に帰ってきてから、メンバーのリストをもらい、再度FAXで招待状を送るということになれば、9月5日来日という線も、再び不安なものになってしまいます。そうした事態だけはどうしても避けたい、という思いが強く、それ以上は「ドウダルカ」については触れませんでした。

帰国後、理由についてFAXで問い合わせたところ、一番大きな問題は、やはりお金の問題だったようです。

『深江さん。この件については全て同盟に責任があります。日本に行くことについて、ドウダルカとの間で、充分にその経費（謝礼も含めた）についてお互いの合意が出来ていませんでした。そのことも含め、私たちの力不足で、旅費を集めることが出来ずに、日程が延びてしまい、結果として難しくなりました。その次に紹介を受けたのが（アンサンプルの関係で）、パレスカヤ・ゾーラチカでした。モズイリ市のグループです。ご存じの通りモズイリ市は汚染地に属します。その子供たちなので日本の皆さんもよろこんで迎えてくれると思いました。』という内容の手紙でした。

モズイリ市はチェルノブイリから100キロ圏にある町です。当然町全体が汚染しています。事故後、子供たちの身体は目に見えて弱くなっていった

そうです。アンサンブルは約5年前に誕生しました。モズイリの子供たちは自分たちの健康回復も含めて、踊りを楽しんでいるといいます。

私たち調査団の一行を心から歓迎してくれた子供たちが日本にやってきます。みんな日本に行けることを楽しみにしています。最高の接遇をしたいと思います。

ベラルーシ子ども民族舞踊アンサンブル「パレスカヤ・ゾーラチカ」(草原の星)からのメッセージ

約五年前、アンサンブル「パレスカヤ・ゾーラチカ」は中学生を中心に結成されました。年毎に力をつけ現在では国内の様々なコンクールで受賞するようになりました。このアンサンブルには市内の様々な学校の七歳から十五歳の子供が二〇〇人在籍しています。そのうち踊りの上手な子どもたちはテレビの様々なコンクール番組に出演しています。アンサンブルは工場や学校、親のない子のための慈善マラソン(通称テレマラソン)などに出演しています。

子供たちの健康は、チェルノブイリ原発の事故の影響による健康の問題もありますが、子どもたちはこのアンサンブルで楽しく過ごしています。

アンサンブルのレパートリーは、民族舞踊を中心に、ジプシー、ラテンアメリカなどです。

子どもたちの舞踊に対する確信は大きく、それは彼らに生き、愛し、そして信じる力を与えるものです。

16人ものメンバーを日本に招待し九州各地で公演するという初めての取り組みだったため、様々な面で不手際がありました。これもひとえに運動の未熟さ故です。寛大な心でお許し頂ければと思います。様々な困難を乗り越えて、私たちの運動も力強く前進していければ最高です。

なお、モズイリ市、カリンカピッチ市、ホイニキ市と調査活動を行い、今回はモズイリ市の子供病院に医療機器(血液分析器と試薬、総合ビタミン剤)を送ることにしました。最終日の宗像市での公演終了後、九州の市民からということで、贈呈式を行いたいと思っています。また、出来るだけ早い時期に、エコーカメラ、自動血球計測装置などの医療機器も贈れればと思います。

サナトリウム九州は改修工事中で子供たちには会えませんでした。

昨年12月1日にオープンした「サナトリウム九州」は、私たちが訪問したときは改修工事の真っ最中でした。

ミンスク市から東に車で15kmほど走るとミンスク州スタイキ村があります。旧ソ連時代、この村にオリンピック選手用のリハビリ訓練センターが造

られました。この村の地名を取って、通称スタイキと呼ばれています。「サナトリウム九州」はこの施設の1棟(3階建てで200人収容)を借りてのオープンでした。

昨年12月にゴメリ州カリンカピッチ市の子供たち120人が3週間滞在し、(3週間というのがベラルーシのというより、旧ソ連時代からの単位になっているようです。たとえば、放射線医学センター付属病院も一人の子供の入院期間は3週間でした。)

その後、1月にはゴメリ市から60人、1月中旬から2月にかけてはレリツィツ市から130人が健康回復のためにおとずれています。その後再びゴメリ市から131人の子供たちが利用し、第五回目は、スベトロゴルスク市から83人、ゴメリ市から31人の子供たちが保養に訪れました。

サナトリウム九州は5回転し、その後全面改修工事に入りました。というのも、スタイキ自体が大人の、しかもオリンピック選手用の施設なので、サナトリウムとして借りることになったゲストハウスも全て大きめです。しかも、家具などもかなり古くなっておりベッドなどを子供用にするのに合わせて、配管(スチーム暖房用に変える)工事や塗装工事と全面的に改修が行われていました。

なぜ、オープン前に改修工事をしなかったのだろう?、というのが素朴な疑問ですが、同盟の方も、スタイキの側も先ず実績が欲しかったようです。というのも、改修費用はすべてスタイキ側が持つことになっているので、先に改修してしまっ、「サナトリウム」がオープンしなかったら全く無駄にな

ってしまう訳ですから、お互い実績が欲しい訳です。8000キロも離れた国の出来事ですから、中々私たちのイメージ通りには事は進まないようです。

さて、そういう訳で、子供たちとの感激の対面という劇的な場面はなかったのですが、必死に子供たちを探しました。というのも、7月、8月が夏休みの期間です。この時期、北欧の子供たちは静養をかねて皆、南へキャンプに行ってしまうのです。話には聞いていましたが、実際ベラルーシの夏を体験して実感しました。8日間の滞在中で晴れの日が最終日だけでした。あとはどんよりとした雲が空を覆い、毎日のように小雨が降っています。こんな天気なら南へ逃げたがるのも無理はありません。おまけに野菜も育たない、くだものも小さい、というわけです。

しかし、カリンカピッチでタチアナ先生とスベトラゴルスクでフェレモンシユク先生と子供に会い話を聞くことが出来ました。詳しい内容は報告集に譲りますが、子供たちがエコーや血液分析器などの機器を使った検査をしていないのは事実のようです。サナトリウム九州で初めて検査をしてもらい、『私のクラスの20人の子供を連れてサナトリウムに行ってきた。エコーで検査したところ、私を含め、全ての子供が甲状腺肥大の症状があった。その内3人は3度まで進んでいたため、すぐに治療をしなければいけないほどだった。スタイキはすばらしい。健康増進のための設備は整っているし、医療機械もある。』サナトリウム九州の評価はかなり高いようでした。(深江)

## 阿蘇キャンプへのお誘い!

前号でもお知らせしましたが、以下の内容でキャンプを行います。多数のご参加をお待ちしています。

※宿泊場所 阿蘇百姓村「百姓の家」

☎ 869-22

阿蘇郡阿蘇町赤水天神山630-1

☎ 0967・35・1414

### 【交流会内容】(予定)

●9月11日(土)

PM3:00ごろから～

アンサンブル、ミニ公演、阿蘇赤水の子供たちの催し物と郷土芸能、個人、団体の飛び入りも歓迎

PM6:00～

肥後赤牛のバーベキューパーティー

PM7:00～

盆踊り大会、他

PM8:00頃

お開き。日帰り組を見送る。

宿泊組、子供は花火大会、大人は夜更けまで静かなパーティーが出来ます。

●9月12日(日)

大観望、または草千里を予定。

### 【交流会への参加費】

大人(中学生以上)3500円・但し

飲み物は別、生ビールは400円(中)  
子供(小学生以下)1500円・飲み物は別。

### 【宿泊費】

大人(中学生以上)4500円(朝食付)  
子供(小学生)3000円(朝食付)

幼児は無料・食事は別途あります。

☆☆ 交流会参加希望のかたは、通信欄に①、大人、子供の別と人数、②、交流会のみか、宿泊希望か、③、さらに、バス・トイレ付き和室(3名位まで)が良い方はその旨明記して、③の方は、宿泊料金もプラスして交流会費をお送りください。

◇◆ 郵便振替 熊本0-58862  
チェルノブイリ基金・くまもと

詳しくは、中島千佐子さんまで連絡をお願いします。

☎ 096・343・2654



<p>9月12日(日) (鹿児島市)</p>	<p>●場 所 中央公民館(鹿児島市)          ●時 間 開場18:00 開演18:30          ●入場料 前売 大人 1500円(当日2000円)                    中高生 800円(＼ 1000円)                    小学生 500円          ※大人1名につき小学生2名まで入場可          ●内 容 現地報告/公演/鹿児島コダーイの子ども達のわらべ歌          ●連絡先 (0992)67-5744 宮路</p>
<p>9月14日(火) (宮崎市)</p>	<p>●場 所 宮崎市・県医師会館ホール(宮崎市和知川原)          ●時 間 開場18:30 開演19:00          ●入場料 前売 大人 1500円(当日2000円)                    中高生 800円(＼ 1000円)                    小学生 500円          ※前売り券は西村楽器店本店でも発売          ●内 容 現地報告/公演          ●連絡先 (0985)56-0787 井野[宮崎] / (0987)29-1641 宝蔵[日南]                    (0983)23-3212 松丸[高鍋] / (0986)39-4646 藤崎[都城]</p>
<p>9月15日(水) (大分市)</p>	<p>●場 所 大分市コンバルホール          ●時 間 開場18:30 開演19:00          ●入場料 前売 大人 1500円(当日2000円)                    中高生 800円(＼ 1000円)                    小学生 500円          ●内 容 現地報告/公演          ●連絡先 (0977)23-6334 河野</p>
<p>9月16日(木) (下関市)</p>	<p>●場 所 下関市勤労福祉会館(下関市幸町)          ●時 間 開場18:00 開演18:30          ●入場料 前売 大人 1000円(当日1200円)                    中高生 800円(＼ 1000円)                    小学生 300円          ●内 容 現地報告/公演/朝鮮学校の子ども達も出演          ●連絡先 (0832)53-4840 田口</p>
<p>9月18日(土) (宗像郡)</p>	<p>●場 所 宗像郡福間町公民館ホール          ●時 間 開場14:30 開演15:00          ●入場料 前売 大人 1500円(当日2000円)                    中高生 800円(＼ 1000円)                    小学生 500円          ●内 容 現地報告/公演/入場者と舞台の歌の交換                    医療機器の贈呈式          ●連絡先 (0940)43-0374 伊藤</p>

# ベラルーシ子供アンサンブル パレスカヤ・ゾーラチカ (草原の星たち) 公演スケジュール

子供アンサンブルの各地での公演は以下のようになっています。ご覧の上、ご都合の良い会場にぜひ足をお運び下さい。また、チケット売りや当日の諸係にも協力していただけたいと思います。くわしくは、各連絡窓口まで。

なお、この通信をご持参の方は、どの会場でも前売料金で入場できます。

<p>9月7日(火) (福岡市)</p>	<p>●場 所 福岡市早良市民センター (☎092-831-2321) ●時 間 開場18:00 開演18:30 ●入場料 前売 大人 1500円(当日2000円)           中高生 800円(＼ 1000円)           小学生 500円 ●内 容 現地報告/公演 ●連絡先 (092)884-1321 姉川</p>
<p>9月8日(水) (北九州市)</p>	<p>●場 所 北九州市立響ホール (八幡東区平野) ●時 間 開場18:30 開演19:00 ●入場料 前売 大人 1500円(当日2000円)           中高生 800円(＼ 1000円)           小学生 500円           ※前売り券は市内有名プレイガイド等で発売中 ●内 容 現地報告/公演/小倉少年少女合唱団の合唱 ●連絡先 (093)452-0665 深江 / (093)681-3911 鶴田</p>
<p>9月9日(木) (佐賀市)</p>	<p>●場 所 メートプラザ佐賀 (佐賀市兵庫町 ☎0952-33-0003) ●時 間 開演 (1)15:30~ (2)19:00~           (開場はそれぞれ30分前) ●入場料 前売 大人 1000円(当日1200円)           小中高生 500円(＼ 700円) ●内 容 現地報告/公演 ●連絡先 (0952)32-2801 グリーンコープ生協</p>
<p>9月10日(金) (長崎市)</p>	<p>●場 所 長崎市平和開館 ●時 間 開場18:00 開演18:30 ●入場料 大人 1000円/中高生 500円(前売・当日同額) ●内 容 現地報告/公演 ●連絡先 (0958)47-1823 川原</p>

ロシア語のアルファベット

ロシア語は変わった文字がいっぱいですが、アルファベットさえ覚えれば、街の看板ぐらいは読めるようになりますので、飛行機の中を利用して、ちょっと覚えてみませんか。

大文字	小文字	対応ローマ字	日本語読み
А	а	A	アー
Б	б	B	ベー
В	в	V	ヴェー
Г	г	G	ゲー
Д	д	D	デー
Е	е	E	イエー
Ё	ё	Yo	イヨー
Ж	ж	Zh	ジュー
З	з	Z	ゼー
И	и	I	イー
Й	я		イークラトコエ
К	к	K	カー
Л	л	L	エリ
М	м	M	エム
Н	н	N	エヌ
О	о	O	オー
П	п	P	ペー
Р	р	R	エル
С	с	S	エス
Т	т	T	テー
У	у	U	ウー
Ф	ф	F	エフ
Х	х	Kh	ハー
Ц	ц	Ts	ツェー
Ч	ч	Ch	チェー
Ш	ш	Sh	シェー
Щ	щ	Sch	シチェー
Ъ	ъ		
Ы	ы	Y	ウィ
Ь	ь	J	
Э	э	E	エー
Ю	ю	Yu	ユー
Я	я	Ya	ヤー

たとえば映画館はКИНО、レストランはРЕСТОРАНとなります。

日本語の綴り方法

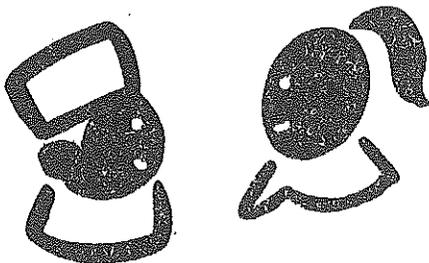
ここでは例として、小文字で表します。

あ	a	い	и	う	у	え	э	お	о
か	ka	き	ки	く	ку	け	кэ	こ	ко
さ	sa	し	ши	す	су	せ	сэ	そ	со
た	ta	ち	чи	つ	цу	て	тэ	と	то
な	na	に	ни	ぬ	ну	ね	нэ	の	но
は	ha	ひ	хи	ふ	фу	へ	хэ	ほ	хо
ま	ma	み	ми	む	му	め	мэ	も	мо
や	ya			ゆ	ю			よ	ё
ら	ra	り	ри	る	ру	れ	рэ	ろ	ро
わ	wa								
が	ga	ぎ	ги	ぐ	гу	げ	гэ	ご	го
だ	dza	ぢ	dzi	づ	dzu	ぜ	dze	ぞ	dzo
だ	da	ぢ	dzi	ず	dzu	で	de	ど	do
ば	ba	び	bi	ぶ	bu	べ	be	ぼ	bo
ば	pa	び	pi	ぶ	pu	べ	pe	ぼ	po
きゃ	kyä			きゅ	kyu			きょ	kyo
しゃ	shyä			しゅ	shyu			しょ	shyo
ちゃ	chyä			ちゅ	chyu			ちょ	chyu
にゃ	nyä			にゅ	nyu			にょ	nyu
ひゃ	hyä			ひゅ	hyu			ひょ	hyu
みゃ	myä			みゅ	myu			みょ	myu
りゃ	ryä			りゅ	ryu			りょ	ryu
ぎゃ	gyä			ぎゅ	gyu			ぎょ	gyu
じゃ	dzyä			じゅ	dzyu			じょ	dzyu
びゃ	byä			びゅ	byu			びょ	byu
びゃ	pyä			びゅ	pyu			びょ	pyu

これで例えば名前は、<sup>ヤマダ</sup> <sup>ハナコ</sup> ЯМАДА ХАНАКОと表せます。

●数字

0	ноль (ノーリ)	7	семь (セーミ)
1	один (アジン)	8	восемь (ヴォーセミ)
2	два (ドゥヴァ)	9	девять (デューヴァチ)
3	три (トゥリー)	10	десять (デューシャチ)
4	четыре (チェトゥイレ)	100	сто (ストー)
5	пять (ピャーチ)	1000	тысяча (トゥイシチャ)
6	шесть (シェスチ)		



Let's Speak Russian!

簡単なあいさつ

はい	Да.
いいえ	Нет.
こんにちは	Здравствуйте.
おはようございます	Доброе утро.
こんばんは	Добрый вечер.
ありがとう	Спасибо.
どうぞ (どういたしまして)	Пожалуйста.
すみません	Извините (Простите).
	пожалуйста.
わかりません	Я не понимаю.
さようなら	До свидания.

便利な表現

結構です (良い)	Хорошо.
悪い	Плохо.
いくらですか	Сколько стоит?
これはなんですか	Что это?
~をください	Дайте, пожалуйста ~.
要りません (ダメです)	Не надо.
いいですか (できますか)	Можно?
トイレはどこですか	Где туалет?
私は日本人です (女性)	Я японка.
私は日本人です (男性)	Я японец.

簡単な会話

あなたのお名前は?	Как Вас зовут?
私は~ (花子) です。	Меня зовут ~ (Ханако).
どこから来ましたか?	Откуда Вы приехали?
日本です。	Из Японии.
日本のどこに住んでいますか?	Где Вы живёте в Японии?
東京に住んでいます。	Я живу в Токио.
あなたは何歳ですか?	Сколько Вам лет?
私は二十歳です。	Мне двадцать лет.
インツーリストホテルまで お願いします	До гостиницы "Интурист", пожалуйста.
わかりました	Хорошо.
いくらですか?	Сколько стоит?
3ルーブル50コペイカです。	Три рубля пятьдесят копеек.
ありがとう。さようなら。	Спасибо. До свидания.

単語

私	Я	本	книга
私達	Мы	新聞	газета
あなた	Вы	雑誌	журнал
彼	Он	ペン	ручка
彼女	Она	水	вода
彼ら	Они	お湯	кипяток
入り口	вход	紅茶	чай
出口	выход	コーヒー	кофе
バス	автобус	ミルク	молоко
トロリーバス	троллейбус	パン	хлеб
地下鉄	метро	バター	масло
タクシー	такси	塩	соль
空港	аэропорт	砂糖	сахар
駅 (大きい)	вокзал	オープンサンド	бутерброд
駅 (小さい)	станция	アイスクリーム	мороженое
ホテル	гостиница	キャビア	чёрная икра
レストラン	ресторан	イクラ	красная икра
ビュッフェ	буфет	ワイン	вино
商店	магазин	ウオッカ	водка
デパート	универсам	コニヤック	коньяк
市場	рынок	ビール	пиво
料金所	касса	琥珀	янтарь
レシート (請求書) せつ	счёт	金	золото
おつり	сдача	銀	серебро
電話	телефон	お金 (紙幣)	деньги
電報	телеграмма	ルーブル	рубль
ファクシミリ	телефакс	コペイカ	копейка
公衆電話	телефонавтомат	毛皮	мех
劇場	театр	ミンク	норка
バレエ	балет	黒貂	соболь
オペラ	опера	リス	белка
コンサート	концерт	寒い	холодно
オペラグラス	бинокль	暑い	жарко
休憩時間	антракт	日本	Япония
切符	билет	スーツケース	чемодан
映画	кино	荷物	багаж
映画館	кинотеатр	女性	женщина
郵便局	почта	男性	мужчина
ハガキ	открытка	父	отец
切手	марка	母	мать
封筒	конверт	子供たち	дети
地図	карта	親	родители

チェルノブイリ支援運動九州

事務局

〒803-02 北九州市小倉南区遠志1-13

深江 守 筑付

TEL/FAX093-452-0665



Mr. Vasil Yakavenka,  
President of the Socio-Ecological Union "Chernobyl",  
Minsk, Republic Belarus  
Tel: (0172) 20-39-04  
Fax: (0172) 23-90-14

14th July, 1993

We, members of "Assistance Movement to Chernobyl", are inviting the delegation of the Belarusan Socio-Ecological Union "Chernobyl", 16 members involving four adults and 12 (twelve) children, within the period of 5 - 21 September, 1993.  
The adults are:

1. Yakavenka Larisa Matveevna, female, 1941 (leader of the delegation)
2. Rudenko Elena Petrovna, female, 1959 (the leader of the ensemble)
3. Bugaenko Galina Romanovna, female, 1952 (sound producer)
4. Grinevich Tamara Sergeevna, female, 1939

The aim of the visit is delivering lectures on the Chernobyl disaster aftermaths on the territory of Belarus and acquainting the Japanese people with the national dancing and singing culture of the Belarusians.

We are ready to pay all the travelling, medical insurance and staying expences in Japan.

Mamoru Fukae,  
President of "Assistance Movement  
to Chernobyl".

深江 守

The list of the children of the ensemble "Poleskaya Zorachka"  
(the city of Mozyr)

1. Loban Natalya Mikhailovna, female, 1981
2. Novokreshchyonova Ludmila Nikolaevna, female, 1982
3. Belorusova Olga Vasilyevna, female, 1983
4. Koidan Elena Stepanovna, female, 1985
5. Budaenko Liliya Fyodorovna, female, 1980
6. Budovskaya Yuliya Olegovna, female, 1982
7. Rudenko Dmitry Alexandrovich, male, 1980
8. Leonova Tatyana Vyacheslavovna, female, 1983
9. Tarasenko Gennady Leonidovich, male, 1982
10. Sarnavskaya Elena Adamovna, female, 1981
11. Rabilko Alla Andreevna, female, 1983
12. Bugaenko Inessa Fyodorovna, female, 1985